

2021 年度(令和 3 年度)学校評価自己評価表

培遠中学校区	校番59	福山市立日吉台小学校
最終更新日	2021年(令和3年)5月7日	

I 福山市

<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校・中学校共に、子どもが目標を立て、課題に取り組み、その成功体験により、自己肯定感が上がるという流れよくわかった。 中学校は、短期経営目標の自己評価結果に基づき改善策を実行してほしい。 積極的な情報発信により、中学校区の学校保護者・地域が互いに連携協力を深めてほしい。 	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 意欲的に学び合う姿が増えてきた。 課題発見学習にチャレンジしている。 中学校における長期欠席の生徒は全体の4.6%である。(全国平均3.9%) 人間関係トラブルを、当事者同士で解決できない。周辺の一部の子ども達にも、トラブルを温存、助長する傾向がある。 中学校では、一部の生徒で、SNSのトラブルが、繰り返し起きている。 	<p>育成する力 (21世紀“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>課題発見力、論理的思考力、コミュニケーション力、実践力</p> <p>自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが主体的で、対話のある授業づくり 子どもの問いが生まれる授業づくり 子どもがワクワクする授業づくり 地域貢献活動の実施
---	---	---	---

III 自校

<p>ミッション</p> <p>社会の一員としての自覚を持ち、自ら「夢」に向かって挑戦する、自律した子どもを育成する。</p>	<p>育成する力 (21世紀“スキル&倫理観”)</p>	<p>課題発見力</p>	<p>論理的思考力</p>	<p>コミュニケーション能力</p>	<p>実践力</p>
<p>学校教育目標</p> <p>自ら気づき、考え、判断して行動する子どもの育成</p>	<p>めざす子ども像</p>	<p>低学年</p> <p>「不思議だな」「何故かな」を見つけることができる。</p>	<p>事柄や時間の順序を整理しながら考えることができる。</p>	<p>自分の思いや考えを相手に伝えることができる。</p>	<p>自分がすることを最後までやり抜くことができる。</p>
<p>現状</p> <p><児童生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分達で企画運営する異学年活動、委員会・学級活動を積極的に行おうとする姿が見られるようになった。 「自分にはよいところがある」88.4%、「学級や委員会で自分の役割を果たしている」91.7%であった。 暴言暴力によるトラブルが多い。 長期欠席児童は4名である。 <p><授業></p> <ul style="list-style-type: none"> 「授業で考えることが面白い」91.1%、「自分で考えた方法で学んでいる」85.5%であり、意欲的に学び合う姿が増えてきた。 全員が一律に取り組む学習だけではなく、児童が学び方や取り組む順番など、自分で選択できる内容を単元に位置付けるようにしている。 教科横断的な学びにより、児童の興味関心を喚起しながら、資質・能力を育むような授業展開をする必要がある。 	<p>中学年</p> <p>自ら問いを見つけ、既習内容や方法で解決することができる。</p>	<p>因果関係を整理し、筋道を立てながら考えることができる。</p>	<p>自分の考えと相手の考えを比べながら伝え合うことができる。</p>	<p>自分がすることを考えて、目標を持って最後までやり抜くことができる。</p>	
	<p>高学年</p> <p>自ら問いを見つけ、見通しを持って調べたり、考えたりしながら、解決することができる。</p>	<p>因果関係を整理し、筋道を立てたり、根拠を明確にしたりしながら考えることができる。</p>	<p>多様な考えを受け入れながら、自分の考えを伝えることができる。</p>	<p>自分の役割を自覚し、役に立つ喜びを感じながら行動することができる。</p>	
	<p>研究</p>	<p>テーマ</p> <p>学ぶ楽しさを実感しながら、主体的に学びに向かう力を育む授業づくり ～知的な好奇心を高める探究的な単元づくりを通して～</p>			
	<p>めざす授業の姿</p>	<p>内容等</p> <p>認知のしくみ・探究的な学び等についての理論研究、単元づくり、授業研究・協議</p>			
					<ul style="list-style-type: none"> 子どもが、「もっとやりたい」「できた」「わかった」と実感する授業 子どもの問いから広がる授業 子どもが対話したり、解決方法を自分で選択したりする授業

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立日吉台小学校

年 目	中期経営目 標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)				
							□指標に係る 取組状況	70% 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	70% 評価	達成 評価	総合 評価
4	主体的に学 ぶ力の育成	★	見 直 し	<ul style="list-style-type: none"> 自ら学ぼうとする意欲を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 探究的な展開になるような単元づくりを行う。 単元に自分のペースで取り組む時間と内容を位置付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 「もっと学びたい」「授業が楽しい」80%以上 								
			見 直 し	<ul style="list-style-type: none"> 自らの目標を決め、学び方を考えながら学力の定着を図る授業づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> タブレットドリルなど多様な方法で学習を行う。 個別の状況を把握し、必要に応じた個別の学習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自分で考えた方法で学んでいる」80%以上 「授業が分かる」80%以上 学期末確認テスト国語・算数85%以上 								
2	自らに自信 を持つととも に、相手を思 いやる心の育 成	★	継 続	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割を自覚し、課題解決に向け、協働してやり抜く力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けた係活動、委員会活動になるよう内容を見直す。 自分の役割を考えることができる多様な活動の場をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学級や委員会で自分の役割を果たしている」85%以上 「自分には良いところがある」85%以上 								
			新 規	<ul style="list-style-type: none"> 相手意識を持った言動をしようとする態度を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が企画運営する異学年活動を行う。 児童会が主体となり、挨拶や優しい言葉遣いを呼びかける取組をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自分から挨拶をしている」85%以上 「くん・さんを付けて呼んでいる」75%以上 長期欠席者前年度数以下 								
4	自らの生活 を律するたく ましい心と体 の育成		継 続	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かすことの楽しさに気づき、自ら体力づくりに取り組む態度を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 委員会や学級、学年でスポーツ活動を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「体を動かすことは楽しい」80%以上 								

			継続	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣を自分でマネジメントしようとする態度を育む。 家庭と連携し、自身の生活習慣を振り返り、自己目標を立てて取り組むアウトメデア週間を学期毎に実施する。 「自分で早寝・早起き・テレビの視聴時間管理に取り組んでいる」80%以上 「毎日朝ごはんを食べている」95%以上 															
3	教職員がやりがいと充実感を持ち、元気に働くことができる環境づくり	★	継続	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学校運営に参画しようとする意識を育む。 各自が校務分掌上の課題を見つけ、改善策を提案する。 事前に課題と方向性を確認し、担当者に方法を任せる。 「仕事に意義とやりがいを感じている」教員95%以上 															

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。